



家族連れなどたくさんの人で賑わいました



チラシや乳酸飲料を配り安全運転を呼びかけました



九州大会での活躍へ意気込む選手たち



多くの人が参加しました

4/28-29 大型連休を有明海で満喫
熊本北部漁協が潮干狩りを開催

熊本北部漁業協同組合（上田浩次代表理事組合長）は、長洲海岸で潮干狩りを開催しました。これは、子どもたちや地域の皆さんに有明海の干潟を身近に感じてほしいと毎年開催しているものです。ことしは町内外から約1,600人が参加し、大型連休を楽しみました。

Voice 小郡市から参加した手島諒介さん(11歳)、瞳さん(8歳)

長洲町に住んでいるおばあちゃんと毎年楽しみに参加しています。おばあちゃんに教えてもらったので、今では自分たちであさりを探せるようになりました。

4/28 春の交通安全キャンペーン
長洲有明ライオンズクラブが交通安全を呼びかけ

長洲有明ライオンズクラブ（木下紳会長）は、長洲港の有明フェリー乗船駐車場で春の交通安全キャンペーンを実施しました。

この日は荒尾地区交通安全協会長洲支部の協力もあり計5人が参加。フェリーの乗船を待つドライバーや同乗者に声をかけ、啓発チラシを配るなどして安全運転を呼びかけました。

木下会長は「この場所で啓発活動を始めて約20年になります。連休の始まりで家族連れも多かったので、安全で楽しい連休を過ごしてほしいです」と話しました。



金魚すくいを楽しむ来場者

5/5 金魚でつながる交流
東京でながす金魚をPR

金魚坂（東京都文京区本郷）で、第4回もよう・地金倶楽部の会が開催され、町は、「ながす金魚」や「金魚すくい」を出展しました。

金魚坂は、創業350年の老舗金魚問屋で、金魚を身近に感じることでできる空間として関東地域で親しまれています。平成26年度から町との交流が始まり、ながす金魚のPRへ向けて連携して取り組んでいます。

この日は、全国各地から金魚愛好家をはじめ、関東地域から多くの来場者が訪れて金魚すくいを楽しむなど、好評でした。

4/8 長洲柔道塾
九州大会へ出場

山鹿市総合体育館で行われた第9回熊本県小学生学年別柔道大会に長洲柔道塾の選手たちが出場し、九州大会出場の切符を手に入れました。

これは、小学生の柔道大会（個人戦）では唯一全国大会につながる大会で、県内各地から約700人が参加する大会です。優勝者は全国大会への出場権が得られるこの大会で、長洲柔道塾の選手たちは惜しくも出場権を逃しましたが、入賞者が出場できる九州大会（6月末開催）への出場を決めました。

- 【入賞者】敬称略
準優勝 6年生女子軽量級 永田 大空
4年生男子軽量級 山田 昊宣
3年生男女混合軽量級 平島 煌靖
3位 6年生女子軽量級 山田 莉々子



交差点での衝突事故を間近で見ると生徒たち

4/16 車を使って交通事故の恐ろしさを実演
腹栄中学校で交通安全教室

腹栄中学校（松永光親校長）は、荒尾警察署から講師を招き、全校生徒184人を対象に、交通安全教室を開催しました。

これは、交通事故の怖さを知り、事故につながる危険行為を未然に防ぐために行われたものです。教室では、ビデオ視聴や講話のほか、実際に車や自転車を使い、見通しの悪い交差点を想定しての交通事故を実演。事故を防ぐためのアドバイスも行われました。

生徒代表の中平颯さんは「今後、より一層交通安全に努め、事故のないよう生活していきたいです」と感想を述べました。

4/8 伝統を絶やさないために
上町区で花祭り

上町区（玉ノ木龍児区長）は、上町阿弥陀堂で花祭りを行いました。

これは、上町区（旧上東区）に古くから伝わる伝統行事で、毎年4月8日にお堂を花で飾り、参加者に甘茶やお菓子を振る舞っているものです。ことしは区民など約50人が参加し、伝統行事を楽しみました。

毎年参加している徳永幸子さん（上町区）は「年々参加者が減っているように感じます。若い人など花祭りを知らない世代もいると思うので、周知して昔のような賑わいを取り戻したいです」と伝統行事の承継への意欲を話しました。



多くの来場者が訪れました

4/14-15 金魚品評会で熊本県知事賞を受賞
日本観賞魚フェアでながす金魚をPR

町と町養魚組合は、東京都江戸川区で開催された第36回日本観賞魚フェアに参加しました。このフェアは、全国有数の産地をはじめ、金魚関係者が集い、金魚の展示や、販売などが行われるイベントです。

フェア内で開催された全日本金魚品評会では、町養魚組合の中嶋英喜さん（腹赤区）のジャンボシガラが熊本県知事賞を受賞し、ながす金魚をPRしました。

また、全国有数の産地の金魚生産者同士で意見交換するなど、今後の養魚振興に向けて交流を深めました。



作業に取り組む参加者たち

5/13 春野菜の収穫と夏野菜の種まき
畑の学校開催

ながす地域活動（増岡美知子会長）は、一先宮近くの畑で「畑の学校」を開催しました。

これは、ながす地域活動が子どもたちに栽培や収穫を通じて自然や食の大切さを知ってもらうおうと耕作放棄地を再生した農地を使って毎年行っているものです。

この日は10人が参加し、そら豆などの春野菜を収穫したり、これからの季節に向けてスイカやかぼちゃなどの夏野菜の種まきを行いました。

参加者は「勉強になった。夏野菜の収穫が楽しみ」などの感想を話しました。



北野さん指導の下、きれいなカーネーションができました

5/18 区民で楽しくカーネーションづくり
下東区布あそび教室

下東区（園田一久区長）は、はっとり荘で布あそび教室を開催しました。

これは、布あそびを通して区民の交流を図ろうと、北野孝子さん（下東区）が講師となり、年3回開催しているものです。この日は区民とデイサービス心の花の利用者約20人が参加し、カーネーション作りに挑戦しました。

園田区長は「布あそび教室は区民の参加率も高く、皆さんの協力のおかげで開催できています。今後は、男性の参加率も高めていきたいです」と話しました。



町長賞を受賞した河邊さん親子

5/9 かけがえない日常を写真に
長洲町子ども写真コンテスト 入賞作品決定

平成30年度子ども写真コンテスト入賞作品の表彰式を町役場で行い、河邊美樹さん（鷺巣区）が町長賞を受賞しました。4回目の開催となったことは、52点の作品の応募があり、6点が入賞しました。

結果は以下のとおりです。

【町長賞】

「お兄ちゃんおフロ入れてくれてありがとう♡」

河邊 美樹さん（鷺巣区）

【教育長賞】

「ハイ、チーズ!!」

平田 賢史さん（高田区）

「大スキ♡」

吉田 貴子さん（上沖洲区）

【児童館長賞】

「まだまだ成長中」

大崎 正和さん（出町区）

「しゃぼん玉とんだ!」

大塚雄一郎さん（駅通区）

「かずのおっぱいも飲んでいいよ」

山本さや香さん（中町区）



直径約50cmの作品が寄贈されました

5/16 立野区ものづくり教室で制作
地球儀型ランプシェードを町に寄贈!!

立野区（上野準一区長）は、町役場を訪れ、ヒノキのチップで作った地球儀型のランプシェードを町に寄贈しました。

これは、立野区が本年度から自主活動としてのものづくり教室を行っているもので、約20人の区民が集まり、作品を制作しました。

制作に携わった末藤サツ子さんは「今後も、ものづくりを通して地域を盛り上げたい」と話していました。

寄贈された作品は、平成31年3月末まで金魚の館に展示され、6月12日から24日にかけては熊本市国際交流会館に展示されます。